

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

 取り組んでいきたい項目

| 項 目                                                                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| <b>・理念に基づく運営</b>                                                                                                                                                 |                                                              |      |                                  |
| 1. 理念と共有                                                                                                                                                         |                                                              |      |                                  |
| 1  地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている        | 「生活する主体が入居者で、スタッフはそのパートナー」という理念をもってサービスを実施している。              |      |                                  |
| 2  理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                           | 理念は全員参加の職員会議やケアカンファレンスでも繰り返し議題とし浸透させ、実践が不十分な職員には個別に面談を行っている。 |      |                                  |
| 3  家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる   | ご家族には入居の際説明している。<br>地域の方には運営推進会議において説明している。                  |      |                                  |
| 2. 地域との支えあい                                                                                                                                                      |                                                              |      |                                  |
| 4  隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 買物や散歩の際挨拶したり、施設での催し物には回覧板に掲載してもらい来て頂いている。                    |      |                                  |
| 5  地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 小学校の運動会に参加したり、公民館行事に参加している。                                  |      |                                  |

| 項 目                   |                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                              |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------|
| 6                     | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                  | 音楽鑑賞会や納涼祭などは内容も充実しているので、日頃身近に音楽を聴く機会のない近隣のお年寄りにも参加して頂けるよう声をかけている。                | ○    | 行事があるとき以外にも(例えば日頃行っているカラオケや体操など)にも気軽に参加して頂き、介護予防につながるよう努力したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |                                                                                                              |                                                                                  |      |                                                               |
| 7                     | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                           | 前回の外部評価で特に指摘を受けたアセスメント・介護計画に関する事項は重点的に改善を図った。また、自己評価は自分自身を省みる機会と捉え関係者で実施・改善している。 |      |                                                               |
| 8                     | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>           | 「行事を行う際には回覧板をまわした方がいい」と指摘を受けて以来、その通り実施し地域の方に多く足を運んで頂けるようになった。                    |      |                                                               |
| 9                     | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                            | 上里町介護保険課の意向で運営推進会議に町職員は参加しないが、毎月1回空き状況を連絡したり研修の状況について話し合ったりしている。                 |      |                                                               |
| 10                    | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | 管理者が外部での研修に参加しているが、現時点でこれらの制度を必要とする入居者はいない。                                      |      |                                                               |
| 11                    | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>            | 管理者が外部での研修に参加している。事業所内での職員の言動は管理者だけでなく運営者も注意し、荒っぽい言葉を使用した職員には厳しく注意をしている。         |      |                                                               |

| 項 目            |                                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                       | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 4.理念を実践するための体制 |                                                                                                          |                                                                       |      |                                  |
| 12             | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                 | 十分な時間をとり電話連絡・面談を行っている。                                                |      |                                  |
| 13             | ○運営に関する利用者意見の反映<br><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | グループホーム内で話しづらいときは、別棟のケアハウスに行き利用者本人から苦情・不満を聞くことができるよう配慮し、運営者に即時報告している。 |      |                                  |
| 14             | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 健康状態・暮らしぶりは電話・電子メールや面会時に家族に伝えている。預り金については毎月1回明細を送付している。               |      |                                  |
| 15             | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 利用者同様別棟のケアハウスでも意見や不満を伺っている。                                           |      |                                  |
| 16             | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                            | 職員会議を毎月行っており、意見や提案を聞く他、必要あれば個別に運営者・管理者と面談している。                        |      |                                  |
| 17             | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | 職員は全員早番・遅番など時間帯に関わらず勤務できるため、必要に合わせた勤務割となっている。                         |      |                                  |
| 18             | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 異動は少ない。また、非常勤職員も夏期・期末に手当を支給するなど離職を防ぐ努力をしている。欠員が出た場合はただちに補充している。       |      |                                  |

| 項 目                       |                                                                                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                               | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                  |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援               |                                                                                                   |                                                               |      |                                                   |
| 19                        | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 年間計画に基づき研修を受ける機会を設けている。                                       |      |                                                   |
| 20                        | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会・ケアマネージャー連絡会に参加し質問事項を同業者と議論したり、勉強会の結果を職員会議で話し合っている。 |      |                                                   |
| 21                        | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | 悩みやストレスなどを気軽に話せるよう運営者からも声をかけ、必要があれば個別に面談を行っている。               | ○    | 職員の悩みを聞くことで職場の業務改善につながった事項もあるので、今後も積極的に取り組んで行きたい。 |
| 22                        | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | 介護福祉士や介護支援専門員の資格取得者には手当を支給したり、非常勤から常勤職員として採用するなどして奨励している。     |      |                                                   |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援        |                                                                                                   |                                                               |      |                                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |                                                                                                   |                                                               |      |                                                   |
| 23                        | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | 相談を受けたときは本人と面会し、好みや生活歴も含めて時間をかけてお話を伺っている。                     |      |                                                   |
| 24                        | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 家族が困っていることは非常に深刻な事態となっていることもあるため、十分な時間をとり慎重にお話を伺うようにしている。     |      |                                                   |

| 項 目                       |                                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                            | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                              |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------|
| 25                        | ○ 初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | 在宅での介護が可能と考えられる場合は、介護支援事業所を紹介するなどその方に合ったサービス利用ができるよう支援している。                                                |      |                                                               |
| 26                        | ○ 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | まずは見学に来ていただいた印象を大事にし、無理な入居は勧めていない。<br>入居の際は、馴染みの家具や飾り物などを持参して頂いて自宅と変わらない雰囲気作りに努め、家族の方にも頻繁に面会に来て頂けるよう促している。 |      |                                                               |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |                                                                                                         |                                                                                                            |      |                                                               |
| 27                        | ○ 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 昔の歌や戦争時の苦労話、料理の仕方などを教えて頂いている。                                                                              |      |                                                               |
| 28                        | ○ 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                 | 面会の間隔が空きがちなお家族にも日頃の様子を電話等で伝え、できるだけ関わりを保つよう努力しているが充分ではない。                                                   | ○    | 本人と家族の関係がうまくいっていない場合には、足が遠のきがちとなってしまいが、修復できるよう施設としても努力していきたい。 |
| 29                        | ○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している                                     | 本人と家族の関係がうまくいっていない場合もあるが、お互いの思いがかみ合うよう努力している。                                                              |      |                                                               |
| 30                        | ○ 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                                       | ケアハウスから移動した方にはお友達に会いにきて頂いたり、行事に参加できるよう支援しているが、その他の方については支援は充分とはいえない。                                       | ○    | 本人が大切にしてきたものとの関係をつなげられるよう、取り組んでいきたい。                          |
| 31                        | ○ 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている                                      | 孤立しているときには職員が間に入って声がけし、関係を保てるようにしている。                                                                      |      |                                                               |

| 項 目                              |                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                       | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 32                               | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている                      | 必要な情報の提供を行ったり、本人の様子を家族から伺ったりしている。                                     |      |                                  |
| <b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |                                                                                                     |                                                                       |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                      |                                                                                                     |                                                                       |      |                                  |
| 33                               | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                        | これまでの暮らし方を尊重し、着物・日本髪で過ごして頂いたり、就寝時間を他の方とずらすなど対応している。                   |      |                                  |
| 34                               | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 家族や本人から伺った話を職員全員に浸透させている。                                             |      |                                  |
| 35                               | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている                                          | 日々の状況を記録し職員全員で情報を共有している。                                              |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し   |                                                                                                     |                                                                       |      |                                  |
| 36                               | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 職員会議・ケアカンファレンスでの十分な議論を経て計画を作成している。本人、家族とは作成前に面談し、出来上がったものを説明・同意を得ている。 |      |                                  |
| 37                               | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護度の変更があった場合や本人の状況(病気・怪我など)の変化に応じて見直しを行っている。                          |      |                                  |

| 項 目                         |                                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 38                          | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>     | <p>本人の一日の様子が一目でわかるように記録されており、職員全員が内容を確認後押印することになっている。また、特記事項については職員会議で議論している。</p> |      |                                  |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |                                                                                            |                                                                                   |      |                                  |
| 39                          | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>               | <p>併設のケアハウスでの音楽会やカラオケ教室等に参加したり、外出行事と一緒に出かけたりしている。</p>                             |      |                                  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |                                                                                            |                                                                                   |      |                                  |
| 40                          | <p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>              | <p>歌や紙芝居のボランティアが来たり、運営推進会議に民生委員の方に参加して頂いている。</p>                                  |      |                                  |
| 41                          | <p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>   | <p>本人の状態に応じて対応している。</p>                                                           |      |                                  |
| 42                          | <p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>  | <p>現時点で協働の事例はない。</p>                                                              | ○    | <p>本人の必要性に応じて対応していきたい。</p>       |
| 43                          | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>施設で契約している協力医もいるが、本人や家族の希望がある場合はそちらを尊重し受診している。</p>                              |      |                                  |

| 項 目 |                                                                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                 | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 44  | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>                                              | 協力医の他に認知症専門医のいる病院に相談し、必要があれば受診している。                                                             |      |                                  |
| 45  | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>                                                             | 協力医院の看護師と連携している。                                                                                |      |                                  |
| 46  | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | 入院した場合は利用者と一緒にお見舞いに伺っている。また早期に退院できるよう病院関係者に伝え、受け入れ体制を整えている。                                     |      |                                  |
| 47  | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | 協力医が看取りに関して非常に協力的なので、家族の意向を尊重しながらできる限り当施設で過ごして頂けるような体制を整えている。                                   |      |                                  |
| 48  | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | 上記の通り協力医と密に連絡をとりながら、一日も長く当施設で過ごして頂けるよう取り組んでいる。どうしても本人の変化に対応しきれなくなった時は家族と十分に話し合いながら、受け入れ先を探している。 |      |                                  |
| 49  | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>                      | 他施設への移動時には、受け入れ先の施設と十分に連絡・相談し本人の体調等に応じて移動日を決めている。                                               |      |                                  |

| 項 目                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                        | (○印)                                                                                                    | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| <b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |                                                                                        |                                                                                                         |                                  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                |                                                                                        |                                                                                                         |                                  |
| (1) 一人ひとりの尊重                   |                                                                                        |                                                                                                         |                                  |
| 50                             | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                     | 誇りを損ねるような対応をしている時は職員会議で議題にし<br>ながら、全員で注意できるよう取り組んでいる。また、記録等<br>は全て鍵のかかる棚に保管したり、外部に漏らすことのない<br>よう注意している。 |                                  |
| 51                             | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 衣服を好みで決めて頂いたり、おやつや主食を好きなものを選んだりして頂いている。                                                                 |                                  |
| 52                             | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している      | 起きる時間や寝る時間も一人ひとりのリズムに合わせて異なっており、食事にかかる時間もそれぞれのテンポに合わせている。                                               |                                  |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援  |                                                                                        |                                                                                                         |                                  |
| 53                             | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                  | 和服・日本髪で過ごしている方がいるなど、それぞれの生活歴や好みを尊重している。                                                                 |                                  |
| 54                             | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている           | パン又はごはん、お茶またはコーヒーなど好みで選んで頂いたり、食事の準備や片付けを一緒に行ったりしている。                                                    |                                  |
| 55                             | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                  | お酒を好む方には状況に応じて提供している。おやつ・果物、飲物などは本人の好みに合わせている。                                                          |                                  |

| 項 目                           |                                                                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                              | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 56                            | ○ 気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している        | 排泄記録をつけ、トイレ誘導を定期的に行ない、できる限り自然なタイミングで排泄できるよう努力している。                                           |      |                                  |
| 57                            | ○ 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している    | 希望により週4回入浴可能とし、気の合う人同士で入って頂いている。少なくとも週2回は入って頂くよう対応しており、できないときは清拭としている。ただ、昼間の時間帯のみの対応しかしていない。 | ○    | 夜間帯も入浴できるように取り組んでいきたい。           |
| 58                            | ○ 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                     | 昼寝の時間はそれぞれの生活リズムに合わせている。また、朝も無理に起こさず、本人のペースを尊重している。                                          |      |                                  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                   |                                                                                              |      |                                  |
| 59                            | ○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている  | 縫い物や洗濯、片付けなどをお願いしたり、カラオケや散歩、書道などを行って張り合いのある生活を送って頂けるよう努力している。                                |      |                                  |
| 60                            | ○ お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 買物に行った時は支払って頂くようお金を渡している。又、管理できる方にはお小遣を所持して頂いている。                                            |      |                                  |
| 61                            | ○ 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 天気の良い日は散歩、買物、行事などに出かけられるようにしている。足の不自由な方は車椅子で出かけたり、ベランダで日光浴をして頂いている。                          |      |                                  |
| 62                            | ○ 普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 家族の方とともに出かけられるような働きかけはこれまでしていない。                                                             | ○    | 今後は家族の方とも出かけられるよう働きかけていきたい。      |

| 項 目             |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 63              | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 携帯電話を所持している方もいる。                                                  |      |                                  |
| 64              | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 玄関は鍵をかけておらず、いつでも誰もが気軽に訪問して頂けるようにしている。                             |      |                                  |
| (4) 安心と安全を支える支援 |                                                                                         |                                                                   |      |                                  |
| 65              | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束はできる限り行わないように努めているが、やむを得ない状況ではご家族や主治医の了解を得てから行うこともある。         |      |                                  |
| 66              | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 開設以来、日中、玄関や居室の鍵はかけていない。                                           |      |                                  |
| 67              | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 居室や居間の構造上利用者の所在を把握しやすくなっているため、職員も居間にて見守りしている。                     |      |                                  |
| 68              | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 金銭やおやつなどは力量に応じて所持して頂くこともある。他の利用者に渡すときには声をかけてもらうなどの工夫をしている。        |      |                                  |
| 69              | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | 薬の服用は職員が最後まで見守りを行っている。また、移動時も見守り・手をつなぐなどしたり、玄関をあけると音が鳴るよう工夫されている。 |      |                                  |

| 項 目                       |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                             | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 70                        | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>                 | 緊急時の対応マニュアルを作成し、全職員が内容を把握しているが、応急手当の訓練は定期的には実施していない。        | ○    | 必要不可欠な事項であるため、早急に対応したい。          |
| 71                        | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>   | 年2回夜間想定で避難訓練を実施している。また、運営推進会議等で地域の方に協力を呼びかけている。             |      |                                  |
| 72                        | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> | 緊急時の対応(病院の搬送先等)について個別に家族に相談している。                            |      |                                  |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                                         |                                                             |      |                                  |
| 73                        | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           | 朝・夕2回のバイタルチェックと食事や排泄の状況記録を行っている。異変の際には速やかに主治医と連絡を取っている。     |      |                                  |
| 74                        | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>       | 服用薬の説明書を配布している他、変更があった際は文書や口頭で伝えている。                        |      |                                  |
| 75                        | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>         | 排泄記録をつけているため、状態に応じて水分補給や散歩などを実施している。                        |      |                                  |
| 76                        | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>                    | ハミガキのできない方には水でのすすぎ又は入れ歯のすすぎを行っている。夜間は入れ歯の洗浄・消毒の為、事務所で預っている。 |      |                                  |

| 項 目                     |                                                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 77                      | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>                                   | <p>栄養士が作成した献立で食事を提供している。一日を通じてお茶やコーヒーなど好みの飲物を提供し、水分補給をして頂いている。食事が十分に摂取できないときは、好みのものを提供したり必要に応じて介助しできる限り自分の力で摂取できるよう配慮している。</p> |      |                                  |
| 78                      | <p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>                                         | <p>インフルエンザ予防接種は利用者・職員とも全員行っている。玄関にはマスクを置き面会者にも感染症予防の注意を促している。</p>                                                              |      |                                  |
| 79                      | <p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>                                        | <p>台所や食器はアルコール消毒を毎回実施している。</p>                                                                                                 |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |                                                                                                                      |                                                                                                                                |      |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |                                                                                                                      |                                                                                                                                |      |                                  |
| 80                      | <p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>                              | <p>季節に合わせた草花を植え、開放的な雰囲気を作る努力をしている。</p>                                                                                         |      |                                  |
| 81                      | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>毎日清掃を行い、清潔感のある空間を心がけている。また植物や熱帯魚の飼育を行ったり、利用者の作品を飾ったりして生活感を損なわないよう工夫している。</p>                                                |      |                                  |
| 82                      | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>                              | <p>テレビ前にソファを置き、一人になったり仲の良い方同士でおしゃべりできるような空間を作っている。</p>                                                                         |      |                                  |

| 項 目                     |                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                        | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 83                      | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>本人がくつろいで過ごせるように使い慣れたものを持ってきて頂けるよう家族に協力を呼びかけている。</p> |      |                                  |
| 84                      | <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがなくよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>        | <p>朝・夕2回室内の温度記録をつけ、管理に努めている。</p>                       |      |                                  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                                                    |                                                        |      |                                  |
| 85                      | <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                 | <p>バリアフリーの空間となっている他、手すりも多く設置されている。</p>                 |      |                                  |
| 86                      | <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>                           | <p>利用者一人ひとりに合わせたわかりやすい説明や声がけをするよう全職員心がけている。</p>        |      |                                  |
| 87                      | <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>                                   | <p>建物の外回りはベランダで囲まれており、気軽に日光浴できるようにベンチも設置されている。</p>     |      |                                  |

| . サービスの成果に関する項目 |                                                  |                       |             |
|-----------------|--------------------------------------------------|-----------------------|-------------|
| 項 目             |                                                  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |             |
| 88              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      |                       | ほぼ全ての利用者の   |
|                 |                                                  | ○                     | 利用者の2/3くらいの |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいの |
|                 |                                                  |                       | ほとんど掴んでいない  |
| 89              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○                     | 毎日ある        |
|                 |                                                  |                       | 数日に1回程度ある   |
|                 |                                                  |                       | たまにある       |
|                 |                                                  |                       | ほとんどない      |
| 90              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○                     | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  |                       | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 91              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○                     | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  |                       | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 92              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           |                       | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  | ○                     | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 93              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○                     | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  |                       | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 94              | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○                     | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  |                       | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 95              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています |                       | ほぼ全ての家族と    |
|                 |                                                  | ○                     | 家族の2/3くらいと  |
|                 |                                                  |                       | 家族の1/3くらいと  |
|                 |                                                  |                       | ほとんどできていない  |

| 項 目 |                                                         | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |             |
|-----|---------------------------------------------------------|-----------------------|-------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ほぼ毎日のように    |
|     |                                                         | ○                     | 数日に1回程度     |
|     |                                                         |                       | たまに         |
|     |                                                         |                       | ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている |                       | 大いに増えている    |
|     |                                                         | ○                     | 少しずつ増えている   |
|     |                                                         |                       | あまり増えていない   |
|     |                                                         |                       | 全くいない       |
| 98  | 職員は、活き活きと働けている                                          | ○                     | ほぼ全ての職員が    |
|     |                                                         |                       | 職員の2/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | 職員の1/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           |                       | ほぼ全ての利用者が   |
|     |                                                         | ○                     | 利用者の2/3くらいが |
|     |                                                         |                       | 利用者の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       |                       | ほぼ全ての家族等が   |
|     |                                                         | ○                     | 家族等の2/3くらいが |
|     |                                                         |                       | 家族等の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ほとんどできていない  |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気を最も大切にしており、ひとつの家族として職員・利用者が穏やかに過ごせるよう日々努力しています。